

【議事録】

主 題 平成30年度 第2回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：平成30年 9月28日（金）午後1時30分～
- 場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 2階 会議室1・2
- 出席委員：伊藤正実会長， 秋山義継副会長， 皆川誠司委員（代理：高見耕平氏），
久保田博文委員（代理：島田敏次氏）， 武藤成一委員（代理：青木康幸氏），
富山和之委員， 小川一成委員， 白鳥治代委員， 荒井栄司委員， 染谷礼子委員，
山崎将義委員， 上野好男委員， 小林寛明委員， 渡来真一委員，
中澤正登委員（代理：中山正人氏） 以上15名
- 欠席委員：富澤雄一委員， 田中正利委員， 澤畠政志委員， 鬼沢秀通委員， 山野井周一委員，
松本譲二委員， 下鳥百合子委員， 高橋幸司委員， 井波進委員 以上9名
- 事 務 局：市長公室 石神公室長，
みらいまちづくり課 木川課長， 大山課長補佐， 渋谷係長， 大久保主事
（兼）アルメックVPI 内山征， 和田早永
- 傍 聴 人：2名

●次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
 - (1) コミュニティバス運行見直し計画について
 - (2) コミュニティバスの更新等について
 - (3) 病院バス事業について
 - (4) その他
- 5 閉会

●議事要旨

開会

- ・近隣市の公共交通担当部局の方が委員に加わった。

議題

- (1) コミュニティバス運行見直し計画について
 - ・コミュニティバス等運行見直し計画について説明し，了承された。
- (2) コミュニティバスの更新等について
 - ・コミュニティバスの更新等について説明し，了承された。
- (3) 病院バス事業について
 - ・病院バス事業について説明し，了承された。
- (4) その他
 - ・次回の会議開催は11月中旬で予定する。

●議事録

1 開会（午後1時30分）

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) コミュニティバス運行見直し計画について

・コミュニティバス等運行見直し計画について説明し、了承された。

【質疑等】

委員意見：34頁のコミュニティバスのダイヤの例は、一見3時間連続の休憩なしで運行するように見える。表示の仕方を修正してほしい。

事務局：所要時間は実際より遅い時速で計算し、調整時間を含んだ概略として検討した。実際のみらい号の時速を用いて再計算し、調整時間が分かるようにして誤解の生じない表現に修正する。今後関東鉄道と調整して具体的なダイヤの検討を進めたい。

委員意見：36頁の収支の計算は文中と表中の数字が異なる。

事務局：表中の数字が正しい。文中の数字を訂正する。

委員意見：現況のみらい号の運賃収入はいくらか。

事務局：平成29年度実績で、2台の運賃収入は4,096,250円である。

委員意見：36頁の運賃収入の試算の金額は達成できるのか。

事務局：現況のみらい号の利用者数とバス停圏域の人口を用いて人口あたりの利用率を算出した。この利用率を新ルート案の沿線人口にかけて利用者数を計算し、運賃収入を試算した。車両を2台から5台に増やしたことで、人口が多い地域を通るルートにしたことが要因となり、利用者数が増えるという結果になっている。但し、バス停が密に置けた場合の数字である。また、新規路線の利用者数は周知されるとともに伸びてくるので、運行開始から数年経ち周知され、現況と同様に乗車していただいた場合の数字である。

委員意見：3,000万円の赤字額は大きいので、しっかりとしたシミュレーションをしてほしい。

副会長：財政負担が大きくなり需要がないと、一部の人のみにとって良い公共交通となり原価が高くなる。運行する中でデータを検証し、継続的に需要予測をすることが重要である。また、絶えず利用者の増加を図ることが重要である。運行経費についても試算結果と実際の結果を検証し、適正な公共交通を運行することが求められていると思う。

事務局：今後具体的な計画が決まったら、さらに細かい試算を行う。

委員意見：36頁のコミュニティバスの運行にかかる市の負担が高額であることはみんな知っているのか。みんなにも知ってもらいたい。

事務局：コミュニティバスの運行経費の市民への周知は図っていない。予算の記事等で広報に載る機会はあったと思うが、分かりやすくは記載されていない。コミュニティバスの運行経費はこれだけかかっているからなるべく利用しようといった市民の意識向上につながるよう、周知を図る方法を検討していく。

(2) コミュニティバスの更新等について

・コミュニティバスの更新等について説明し、了承された。

【質疑等】

委員意見：現行のみらい号の車両は市が購入したものか。

事務局：みらい号の車両は関東鉄道が購入し、市が借りている。
委員意見：今回の新規車両は市が購入するのか。
事務局：今回も同様に関東鉄道から市が借りて運行する。
委員意見：車両の賃借料はいくらか。
事務局：ポンチョは5年償却分が1台あたり2,300万円であり、5で割った額が年間の賃借料である。
委員意見：ハイエースの場合も同様か。
事務局：同様の考え方である。
委員意見：今後もバス会社に委託するのか。
事務局：現在は関東鉄道と契約しており、今後も関東鉄道と契約したい。
委員意見：入札ではないのか。
事務局：事業者の決定方法は改めて精査し、次回以降示す。
委員意見：5年償却ということは、6年目以降の支払いはないのか。
事務局：車両の賃借料は6年目以降支払っていない。運行委託料のみ支払っている。
委員意見：運行委託料はいくらか。
事務局：現行2台で21,502,000円である。
委員意見：コミュニティバスに住宅地の中に細かく入ってほしいという市民の要望がある。ポンチョは理想的だと思うが、ハイエースの方が小回りが利き使い勝手が良いのではないか。ポンチョとハイエースの車両を組み合わせることは可能か。
事務局：ハイエースでは積み残しがあると考えている。交通バリアフリー法にも適合しないことから、ポンチョが良いと考えている。ポンチョにもショートとロングがあるが、道路幅員等を考慮し、ショートが良いと考えている。車両については検討中であり、今回は検討内容の報告である。
委員意見：今後車両の検討を進めていく際に、小回りの利く車両を要望したい。
事務局：今までにも議員や一般市民の方からコミュニティバスを住宅地内へ細かく回してほしいという要望をいただいている。今後要望を踏まえて検討していく。
委員意見：コミュニティバスは3～4人しか乗っていないので、小さいハイエースコミュニティーが良いと思う。
事務局：コミュニティバスの平成29年度の運賃収入は4,096,250円、運行経費は25,600,000円であり、差額21,503,750円を補助対象経費として市が関東鉄道に補填し支払っている。

(3) 病院バス事業について

・病院バス事業について説明し、了承された。

【質疑等】

委員意見：地域別に病院を分けているが、診療科や先生によって病院を決め、他地区から通う人もいる。全体的な考えを入れて計画してほしいと要望する。

事務局：要望を踏まえ、検討する。

副会長：コスト対負担を考え、普段車に乗っている人は高度な公共交通サービスを求める傾向があるが、費用がいくらかかっているかを利用者に理解してもらうことが大事だと思う。コミュニティバスに住宅地内の細かいところに入ってほしいといった高い要望に応える公共交通はこういったものかを将来的には考えていかななくてはいけない。運行したら半年程でも傾向が変わるので、実行したものに対して早く検証し、できるだけ費用が掛からない方法で多くの皆様に満足してもらう公共交通の在り方をとっていく必要がある。つくばみらい市という視点で利用者のニーズを絶えず頻繁に取ってほしい。検証の結果を受けて変更しながら市民に利用してもらえらる公共交通を計画してもらいたい。

事務局：運賃をとって運行するよりも、運賃無料で運行する方が市の負担が安い場合がある。そのようなことも含めて次回議論してほしい。

副会長：運行コストを全体で負担しても良いと議会で承認された場合、全体で費用負担した方が市の負担額が安い場合がある。現状のコストについて利用者にも知ってもらいたい。

5 閉会

- ・次回の会議開催は11月中旬で予定する。

●配布資料

- (1) コミュニティバス運行見直し計画について
- (2) コミュニティバスの更新等について
- (3) 病院バス事業について